

【重点審議事項の論点整理について（厚生・産業常任委員会）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備 考
<p>児童虐待の未然防止、早期発見・早期対策に向けた施策の推進等、社会的養護を必要とする子どもに対する支援の充実について</p>	<p>平成 25 年 5 月 15 日 常任委員会 ・乳児虐待事件被疑者の逮捕について</p> <p>平成 25 年 6 月 21 日 常任委員会 ・乳児虐待事件について</p> <p>平成 25 年 10 月 4 日 常任委員会 ・乳児虐待事件についての児童虐待事例検証部会からの意見について</p> <p>平成 26 年 2 月 12 日 常任委員会 ・大津市における幼児死亡事例検証結果の報告について</p> <p>平成 26 年 3 月 11 日 常任委員会 ・子ども家庭相談センター機能強化推進方策について</p> <p>※県内行政調査 平成 25 年 8 月 27 日 中央子ども家庭相談センター ・施設の概要と事業内容等について</p>	<p>児童虐待事案に係る子ども家庭相談センターの支援のあり方等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に虐待に関する通報があった時点で、次の段階に進まないように、もっとケアする必要があるのではないか。 ・子ども家庭相談センターについて、現場の現状をしっかりと分析した上で、職員体制の配置に課題があるのなら、必要な人員を確保されるよう努めていただきたい。 ・増加する児童虐待事案への対応のためには、子ども家庭相談センターにおける対応が重要であることから、センターの機能強化に向けて、専門職も含めた職員の適正配置（正規職員の配置）に取り組まれるよう要望する。 ・子ども家庭相談センターの機能強化については、増え続ける児童虐待事案への対応の強化や、児童虐待事案が子どもの命に関わる重大な事案であることなども鑑みて、今回の推進方策を前倒しする位の意気込みで積極的に取り組んでいただきたい。 ・子ども家庭相談センターを増やす場合には、単に現状の人員を分散するだけではなく、必要な人員については、専門職も含めて早期に正規職員を確保するとともに、しっかりと人材育成を行っていただくよう強く要望する。 	<p>平成 26 年 2 月定例会で本意見について委員長報告がなされた。</p> <p>同 上</p>

<p>観光施策の推進について</p>	<p>平成 25 年 5 月 15 日 常任委員会 ・滋賀県観光振興指針の改定について</p> <p>平成 25 年 9 月 11 日 常任委員会 ・滋賀県観光振興指針の改定について</p> <p>平成 25 年 11 月 26 日 常任委員会 ・滋賀県「観光交流」振興指針（案）に対する意見・情報の募集結果について</p> <p>平成 25 年 12 月 16 日 常任委員会 ・滋賀県「観光交流」振興指針（案）について</p> <p>平成 26 年 3 月 12 日 常任委員会 ・一般所管事項「重点審議事項の論点整理」について</p> <p>※県外行政調査 平成 25 年 11 月 6 日 熊本県議会 ・観光施策の推進について</p>	<p>実効性のある観光振興指針の策定に係る検討について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光指針の改定に当たって、県として何を観光の目玉として売り出し、そのために何ができるのかということについて、観光業界をはじめ関係者が知恵を出し合っ て、指針を作り上げていくという視点が必要ではないか。また、そうした取り組みによって、今までの指針にはないインパクトのあるものに仕上げていただきたい。 ・単なる観光振興のみにとどまらず、本県における観光産業の振興といった次の展開まで念頭に置いた指針とすべきではないか。 ・本県の観光資源である琵琶湖について、レジャーやスポーツ、観光面などのいろんな部分で、もっと利用が図れるように、関係部局と連携しながら取り組む必要がある。 ・観光ブランド「ビワイチ」について、琵琶湖だけでなく、滋賀県全体を発信するものとなるように工夫する必要がある。 ・観光振興の観点から、県庁所在地の玄関口である大津駅周辺のにぎやかさを取り戻すような取組も必要ではないか。 ・民間調査機関が発表した地域ブランドに関するデータでは、本県の順位はまだまだ低い状況にあるので、観光振興を進める観点から、もっと緊張感を持って、こうした順位を少しでも上げるための取組を検討する必要があるのではないか。 	<p>平成 26 年 1 月 滋賀県「観光交流」振興指針 策定</p>
--------------------	---	---------------------------------	--	---

